

必読

実務選択コース 2学年通信

七転八起

第2号

2020年5月7日発行

生徒の皆さんへ

コロナウィルスの感染予防対策が長期化していることで、本校の休校措置においても延長を余儀なくされ、皆さんもこの期間はほとんどの時間を自宅で過ごしていることでしょう。

感染の心配に、学校の授業の心配、部活動の心配など、たくさんの心配ごとが皆さんの頭の中に浮かんでくるかと思いますが、今はただ耐えるしかありません。

このような状況だからこそ、心に栄養を蓄え、事態の終息後は、その内に秘めたパワーを学校生活や部活動へ存分に注いでほしいです。

我々教員も1日も早い学校再開を望んでいます。皆さんの笑顔と笑い声が校舎に響き渡る日を心待ちにしています。

連絡事項

①選択科目教材費の納入について

前期の選択科目教材費（プリントは3月中に配布済）につきましては、5月19日（火）の登校日に納入願います。

②定期券の購入について

各種交通機関の定期券の購入については、各交通会社の窓口へお問い合わせください。年度をまたいでの定期券購入並びに、新年度の定期券購入の場合は、学校が発行する通学証明書が必要になります。（通学証明書は学校事務室にて発行手続きができます）

③スクールバスについて

4月分の定期（乗車）券をお持ちの方は、5月分に振替えいたします（さらに休校が延長された場合は、翌月に振替え）。登校した際、担任の指示を仰いでください。

3月で定期券が切れている方については、学校再開日の朝はスクールバスに乗り、学校にて、定期券を購入ください。

オンライン授業

5月11日（月）から予定で本校でもオンライン授業が開始されます。実務2学年の授業については、当面、3月に配布した One-Week トライアル（基礎力診断テスト対策）を解説するオンライン授業を実施します。

学校再開後、すぐに基礎力診断テストならびに、マナトレの確認テストを実施しますので、しっかりと取り組むようにしてください。

【授業内容】

国語、数学、英語 One-Week トライアルの解説

※休校期間がさらに延長された場合には、3教科ともに「マナトレ6級」の解説を行いますので、事前学習を行ったうえで、オンライン学習に臨んでください。時間割の詳細については、別紙をご覧ください。

学年登校日

下記の日程で登校日を実施します。

【5月19日（火）2学年登校日】通常通りの時間に登校、11時45分放課予定
1校時：LHR（70分） 2校時：授業（40分） 3校時：授業（40分）

集合場所：1組新体育館3階 2組431教室 3組新体育会2階 4組432教室

※スクールバスについては、朝の登校時は通常通り運行します。下校時については、12：00に学校を出発します。16：00のバスは運行いたしません。

また、体調不良や登校に不安がある場合は、登校を控えてください。

本校では5月20日（水）から分散登校を検討しています。詳細は安心メールでご確認ください。

保護者の皆様へ

この度の休校措置により保護者の皆様には、ご心配をおかけいたしております。緊急事態宣言が全国的なものとなり、これまでに経験したことのない状況になりました。新2年生については、3月から2か月間、授業を行っておりませんので、ウィルスの感染だけでなく学力低下等のさらなる心配もあるのではないのでしょうか。

今後は、授業時間数の確保のためにも長期休業中の授業振替等を学校でも検討してまいります。大幅な年間行事の変更等も含め、決まり次第、ご連絡できるようにしていきたいと考えております。

まだ予断を許さない状況であることは間違いありません。保護者の皆様におかれましても、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

学年主任 末松孝治

この春、次女が小学校に入学し、ピカピカの黄色い帽子をかぶり、目をキラキラさせながら、3年生になったばかりの姉と一緒に毎朝通学路を元気よく闊歩する後ろ姿をみるだけで目頭が熱くなります。しかし、今年は通学路の風景が例年とは少し様子が違います。昨今のコロナウィルスの影響で、娘はマスクを着用し、小学校の教室には数名の児童しか登校していません。

本校でも休校措置がとられ、わたしも自宅で過ごす時間が増えました。そんな折、以前購入して、数回見ただけのDVDをあらためて鑑賞してみました。

それは、2012年にフランスで公開された『世界の果ての通学路』という作品で、道なき道を何時間もかけて通学する子どもたちを追った、驚きと感動のドキュメンタリー映画です。

この作品はケニアのジャクソン（11歳）が砂地を手で掘って、湧き出た水を集めて学校の制服を洗濯し、澄んだ飲料水を妹の分もプラスチックのボトルに汲んで家に向かうところから始まります。

飛行機のパイロットになって、世界中を飛び回れることを夢見ている少年ジャクソンは翌朝5時半に6歳の妹サロメを連れて、野生のキリンやゾウ、シマウマが群れをなすサバンナの丘陵地帯や平原を毎日小走りで駆け抜け、約15kmの道のりを2時間かけて登校をします。途中、小高い丘の上にのぼり、野生動物の群れの位置を確認し、その日の通学路を決めます。毎年、4、5人の子どもがゾウの襲撃によって命を落としており、まさに命がけの通学風景です。

ところかわって、アルゼンチン。アンデス山脈の人里離れた牧場で暮らし、将来は獣医を目指しているカルロス（11歳）は、5歳下の妹ミカイラと一緒に愛馬に乗って、天候が変わりやすく、足場の悪いパタゴニアの18kmの山道を1時間半かけて通学します。

また、3000m級の山々が連なるモロッコのアトラス山脈の中心部、イムリル谷近くの辺境の地に生まれたベルベル人の少女ザヒラ（12歳）は、家族のなかで初めて学校に通う世代で、字が読めない祖母や両親は、医師を目指す彼女を全力で応援しています。ザヒラは全寮制の学校に通っていて、毎週月曜日の夜明けに起き、2人の友人と一緒に22kmの道を4時間かけて歩きます。そして、金曜日の夕方、3人は同じ道を歩いて家に帰ります。

さらに、インド・ベンガルの少年サミュエル（13歳）は、未熟児で生まれ、足に障害があります。そこで、2人の弟がオンボロ車椅子に彼を乗せて、4kmの道のり

を1時間15分かけて通学します。途中、近道をしようと川を渡れば車輪が砂にはまって立ち往生したり、人通りの多い道で車輪が外れて動けなくなったりと、彼らの登校には日々トラブルが降り注いでいます。しかし、彼らは困難も貧乏も笑い飛ばす強い絆で結ばれていて、サミュエルは、同じような障害をもつ子どもを助けるために医師を目指しています。

彼ら、彼女らの通学路は危険だらけで、大人の足でも過酷な道のりですが、それにも全くめげることなく学校へとその歩を進めます。

どうして彼らはそんなに苦勞してまで学校に行くのでしょうか。その理由を住む場所も、言語も、宗教も、生活環境も違う4人の子どもたちは、真っ直ぐな瞳で同じ思いをカメラの前で語っています。

それは、「夢を叶えたいから」。

ここに登場する子どもたちにとって、学校は純粋に将来の夢を叶えるための唯一無二の場所だということがわかります。さらに、映像の中には学校での様子を映し出している場面がいくつかあります。それを見ると、友人たちとふれあうシーンにもジーンとくるものがあります。途上国では、友人と一度分かされると、次はいつ会えるかわからないこともあります。人との繋がりが、彼にとってかけがえのない宝物なのかもしれません。

ここ日本でも就学人数が少ない地域では、相当な距離を通っている子どもたちがいます。しかしながら、世界を見渡すと、驚くほどの距離を通う子どもたちがいて、そうした子どもたちがその瞳をキラキラさせながら、学校に通う光景に、「学校とは何か、通学とは何か、生きるとは何か」を見つめ直すことができる映画です。

今回の新型ウィルス感染予防対策による休校措置や緊急事態宣言によって、あらためて学校へ行く意義や学びの楽しさ、友人たちとのふれあいや分かち合いが君たち高校生にとって大きな存在を占めていることに気づかされたのではないのでしょうか。

今後、いくらインターネットによるオンライン教育化が進んだとしても、学校で学ぶこと、登校することを熱望する人はたくさんいると思います。それは、私たちにとって学校が、人と人を繋ぐ大切な場所であるからに他なりません。

1日も早く、人類が新型ウィルスに打ち勝ち、すべての人たちの安全・安心が確保されるとともに、皆さんたちのこれからの学校生活やここでの学びが、より一層有意義なものになることを願ってやみません。

～ご案内～

『世界の果ての通学路』のDVDを貸出します。興味のある方は、お声がけください。この機会に感性を磨きましょう。